

アルゴリズムック・デザイン：建築、デザイン、音楽、そして

企画：日本建築学会 情報システム技術委員会 アルゴリズムック・デザイン小委員会

2015年12月11日（金）9:20～12:00

建築会館ホール（東京都港区芝 5-26-20）

開催趣旨

本研究集会では、建築・都市のアルゴリズムック・デザインに関する委員の最新の研究事例を紹介するとともに、今年度のシンポジウムのテーマである建築分野を超える多様な学問領域への広がりを意識し、古くから建築に影響を与えてきた音楽をテーマに取り上げます。講師として、アルゴリズムック・コンポジションと呼ばれる音楽の生成手法等を用いて様々な創作活動を行う松本昭彦氏をお招きし、その方法について概説していただきます。そして、建築・都市と音楽のアルゴリズムによるデザイン手法の類似点・相異点などを確認し、情報や計算の視点から創造的な活動の理解を深めたいと思います。

1. 趣旨説明（9:20-9:25）

瀧澤 重志（大阪市立大学、アルゴリズムック・デザイン小委員会主査）

2. 研究発表（9:25-10:25）

ZDD を用いた避難所割り当て集合からの全てのパレート解の抽出手法

瀧澤 重志（前掲）

パラメトリックモデリングとデジタル加工機器の連携による設計生産一体システムの開発

渡邊 圭，池田 靖史（慶應義塾大学）

環境的同語反復の展開

木内 俊克（木内俊克建築計画事務所・東京大学）

AI にデザインはできるか／Architectural Intelligence

渡辺 誠（渡辺誠／アーキテクツ オフィス ・ 東京都市大学），千葉 貴史（建築ピボット）

休憩（10:25-10:35）

3. 招待講演（10:35-11:20）

アルゴリズム作曲法 ～システムが生成する音楽～

松本 昭彦（音楽家）

4. 質問・討論（11:20-12:00）

司会：松川 昌平（慶應義塾大学）

招待講演者

松本 昭彦 (Akihiko Matsumoto)

東京都出身音楽家・インタラクティブプログラマー。東京藝術大学大学院修了（古川聖研究室）。高岡明，ジョナサン・リー，キャシー・コックスに師事し，現代音楽の作曲や音楽理論，コンピューター音楽のプログラミング技法を学ぶ。

2012年に 東京藝術大学大学院にて修士号(芸術)を取得後，東京大学工学部知の構造化センター研究員を経てアーティスト・プログラマーとして作品を制作する。

アートに内在するモデルやシステムに着目し，アルゴリズムを駆使して作品構造をメタデザインし，作曲作品では生楽器の奏者のための楽曲もコンピューター上の計算で生成するなど，人間の感覚的なアプローチとは異なる方法でアート作品を制作している。展示作品では音響や光，映像などのメディアを横断しながら対象は音楽に留まらずアルゴリズムミクな生成を軸に創作を行っている。

近年では東京モーターショーのイベント音楽や日本科学未来館の展示音楽の作曲，六本木ヒルズのクールジャパンオフィスのエントランス照明やスマートイルミネーション横浜の音響・照明作品を手がけており，プログラマーとしては渋谷慶一郎，evala，池上高志，大友良英，飴屋法水，藤本隆行，やくし まるえつこ，坂本龍一+高谷史郎ら他のアーティストの作品制作に技術面で携わる。また，大学や放送局，建設会社，自動車メーカー等の研究機関のためのプログラム開発等，音楽やアートに留まらない多岐にわたる創作活動を行っている。

URL: <http://akihikomatsumoto.com/>

参加費等はこちらをご覧ください。

→ <http://www.aij.or.jp/jpn/symposium/2015/151210-11.pdf>